

令和3年度

事業計画書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

令和3年度事業計画書

1. 令和3年度事業の実施方針

令和3年度は、例年のように事業内容としてあまり代り映えしませんが、新しい試みとして、先ず「清明茶会」の野点席で、今回初の青年部の演出により、斬新なお茶の舞台をご用意させていただき、勝山城から美しい夢のような世界を発信し、茶道文化の魅力や価値をより多くの方々に認識していただきます。

勝山市との共催特別展覧会は「勝山城下町における災害と祭礼(仮称)」とし、今回は史料から江戸時代に頻発した災害と一年間の祭礼についてお互いに与えた影響、関係性について紹介いたします。

新しい企画として、今回、幅広い世代の方々にご来館いただくために「ライブ 三味線演奏者の岡野兄弟とピアニストの徳丸大将による陽影月(ひかげつ)ライブ」のファミリーコンサートを企画、3人のプレイヤーがおりなす、心揺さぶる魂のサウンドをお届けいたします。

また、以前にも何回かコンサートを開催いただいている、ソプラノ歌手の飯田美奈子さんのオリジナル曲と巧みなトーク、そして、地元グループのコラボによる恒例の「お城でゴスペル」と3つのコンサートを企画しました。

その他、例年の通り16回目となります絵画作品展「勝山とお城を描こう」、勝山市内4施設で行うクローバーグループ連携事業「俳句」ちゃまを詠む、当館の収蔵品を展示する新春特別陳列・新収品展、当館ホール等を貸し出す貸館事業、そして、今では博物館の大きな支えとなっている勝山城友の会事業が令和3年度の主な事業活動です。

今後は勿論の事、活動の核となる職員の資質向上をはかり勝山市民との関係を今以上に築き、事業活動へのフィードバックしていくことを目指してまいります。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

① クローバーチケット連携「俳句」ちやまを詠む

応募期間 (春夏期) 令和3年3月1日(月)～8月31日(火)

(秋冬期) 令和3年9月1日(水)～令和4年2月28日(月)

入賞者発表 (春夏期) 令和3年9月中旬

(秋冬期) 令和4年3月中旬

クローバーチケットで連携を結んでいる、ゆめおーれ勝山・越前大仏・平泉寺まほろば・勝山城博物館の4館に俳句の投句箱を設置します。古くから俳句が盛んであった勝山にふさわしいイベントとして、各施設の来館者に自由に俳句を詠んでいただき、勝山の文物や自然をより楽しんでいただけるよう企画しています。

② 平成お天守塾 第14回「勝山城清明茶会」

日程 令和3年4月18日(日)～11月23日のいずれかの1日(予定)

毎年恒例となりました、北陸最大規模のお茶会である「清明茶会」を開催いたします。各流派をお招きし、濃茶席・薄茶席・野点席・点心席を設けます。新しい試みとして、今回初の青年部の演出による野点席で、斬新なお茶の舞台をご用意させていただき、勝山城から美しい夢の様な世界を発信し、茶道文化の魅力や価値をより多くの方々に認識していただきます。そして、勝山おやき祭りを始めテント市を開催する見込みとなっております。広報にも力を入れることで、より広い客層へ当館自体をアピールできる絶好の機会として位置付けています。

③ 勝山市・勝山城博物館連携第7回共催展

「勝山城下町における災害と祭礼(仮称)」

日程 令和3年7月17日(土)～10月3日(日) (水曜日休館)

コロナウイルス感染症が各所に多大な影響を与えている現在、令和3年度においては、「勝山城下町における災害と祭礼」を大きなテーマとして、共催展の展示を行う。

御用留・町年寄日記などの史・資料が多く残り、当時の町民の生活がうかがい知れる勝山城下町では、江戸時代に頻発した災害(自然災害・疫病等)についてどのような対応をしたのか、また、一年間の祭礼(左義長、神明神社の相撲等)について紐解き、そこから更に、勝山城下町の災害と祭礼が互いに与えた影響・関係性について考え、それぞれどんな意味を持ったのかを紹介する展示といたします。

白山平泉寺と勝山城下町が日本遺産に指定されたことを踏まえ、勝山城

下町にスポットを当てることで、日本遺産のPRにも繋げていきたいと考えています。

④ 平成お天守塾 「お城でライブコンサート」(仮称)

日程 令和3年9月初旬

三味線&ピアノによる和洋融合ユニットである陽影月(ひかげつ)のライブを開催いたします。日本と西洋の伝統音楽、映画の人気曲やボーカロイド曲など、幅広いジャンルの曲をアレンジして演奏。三人の織り成す心を揺さぶる魂のサウンドをお届けします。

⑤ 平成お天守塾 「Minako Iida お城で歌う」(仮称)

日程 令和3年9月下旬

ソプラノのオペラ歌手としてご活躍されている飯田美奈子氏によるソロコンサートを開催いたします。「魔笛」や「ドン・ジョヴァンニ」など多数のオペラに出演され、その歌と音楽性が高く評価されている飯田氏の歌声を間近で聞いていただける貴重な機会となります。

⑥ 平成お天守塾 「お城でゴスペルⅧ」

日程 令和3年10月前半の土曜日又は日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、8回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループを中心とした音楽イベントを行うことで、音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知いただける機会となっております。他グループとコラボレーションすることで、注目度の高いコンサートです。

⑦ 勝山市・勝山城博物館連携 第16回絵画作品展「勝山とお城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 令和3年7月10日(土)～10月3日(日)

表彰式 令和3年11月3日(水・祝) 2階障壁画ホール

展示会 令和3年11月3日(水・祝)～11月23日(火・祝)

「清明茶会」と並び、本イベントも長年の積み重ねが評価されて勝山市との連携協力事業となっております。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。未来の来館者にも繋がるイベントと位置付けています。

⑧ 新春特別陳列・新収品展

日程 令和4年1月1日(土)～1月31日(月) (水曜通常休館)

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間か陳列することができません。カビや虫の不安も少なく、かつ客足が落ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の特別陳列を行います。同時に、新たに当館の収蔵品に加えられた貴重な品々も同時に公開いたします。

(2) 主な貸館事業

① 月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日（計4回を予定）

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします（要別料金）。当館の茶室で気軽に茶道に親しむ機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化・教育事業に相応しいイベントでの利用を働きかけるとともに、貸館の申し込みを受け付けます。

(3) 学芸活動

① 燻蒸作業は、特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います（費用は館から立て替え、後に市から規定の利用料を加えて全額振り込まれます）。館蔵品もその際同時に燻蒸庫を利用して燻蒸するほか、専用の防虫剤・調湿材の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

当館の知名度向上に伴い作品寄贈や寄託も増えた一方、収蔵庫や展示室の大規模燻蒸は近年行われていないため、開館30周年を目処に一度燻蒸計画を立てる必要があると考えております。

② 調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。どのような博物館であるかを知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

③ 平常展示では、地球の環境汚染に伴う気温上昇等で、室温が一定を保つことが出来ない状態の中で、3階平常展示室において展示作品の保存と展示を考え、3階展示会場に空調設備を考えております。又、作品保護のために定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのま

まに、絵画、装束と刀剣の入替えをメインといたします。刀剣・銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍作品の入替えや西脇呉石作品入替えもできるだけ行ってまいります。県内の刀剣協会・書道団体にも当館の展示室をアピールして参ります。

- ④ 館蔵品では、館蔵品コレクションのメンテナンスを考え、武具甲冑の専門家や絵画専門家に修復や保存のためのアドバイスを受けようと考えています。多田清氏よりご寄贈頂いた屏風作品に経年劣化に伴う破損が目立ち、修復も今後検討しなければならないと考えております。
- ⑤ 特別展では、主に勝山市教育委員会の職員と連携して展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月下旬
- ② 館外研修旅行 5月19日(水)(福井県小浜市)
- ③ 館外研修写真アルバムの編集・発行
- ④ 友の会だより第28号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」への紹介や、チラシの全戸配布などもご協力いただく予定です。また、当館ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例及び臨時理事会の開催 3回(事業計画・予算、事業報告・決算、人事)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算、人事)
- (3) 評議員選定委員会の開催 1回